

小学部 5 年生
社会科見学に行ってきました！

1月17日(水)、本校と城東分教室の小学部5年生21名で社会科見学に行きました。午前中に見学したのは、読売新聞東京本社です。新聞はどのようにして作られるのかを学び、校閲の仕事を経験しました。誤りのある記事の新聞と正しい記事の新聞の2枚を重ねて、パタパタとめくりながら、誤りを確かめる方法を試してみると、「変わったところが分かる！」と驚きの声が上がりました。新聞記事から10個の誤りを見つける体験では、友達と相談しながら全問正解を目指して一生懸命誤りを探す子供たち。一番多く見つけた人は、7個でした。「校閲って難しいけど、大事な仕事なんだなあ。」そんな感想が聞かれました。わたしたちに情報を届けてくれる新聞には、新聞作りに関わる多くの人の熱い思いが込められていることを知ることができました。



4色からなるカラー印刷を体験できる
スタンプ。きれいな色が出ました！

実際に発行された新聞を見ることができました。

午後は、聴力障害者情報文化センターを見学しました。ろう者の職員の方から、なぜこうした施設ができたのか、実体験を交えてお話を聞くことができました。「同じ聴覚障害のある人とつながりをもったり、相談したりできる場所です。みんなもいつでも来られます。」という言葉に、安心した表情を浮かべる子がいました。そして制度や施設をうまく活用しながら、障害の有無に関係なく夢に向かって挑戦してほしい、というメッセージをいただきました。

施設内の字幕や手話映像を付けるスタジオを見学しました。わたしたちにとって「情報」とはどんな役割をもっているのか、わたしたちはどのように「情報」を受け取り、活用しているのか、改めて考える貴重な機会となりました。

